

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名	勤務管理等システム整備費・管理費
------------	-------------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 警務課 電話番号：058-271-2424 (内 2611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,887 千円 (前年度予算額：98,998 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	98,998	0	0	0	0	0	0	0	98,998
要求額	7,887	0	0	0	0	0	0	0	7,887
決定額	7,887	0	0	0	0	0	0	0	7,887

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県警察では、あおり運転、ストーカー、DV、児童虐待、サイバー犯罪、新型コロナウイルス、頻発する大規模災害等への対応により、組織力の更なる強化が不可欠である一方、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が施行され、時間外労働の上限規制等による労働生産性の向上、有給休暇の取得促進といった職員のワークライフバランスの実現が強く求められているところ、組織全体の業務の合理化・効率化が待ったなしの状況となっている。

このような中、岐阜県警察においては、日々全ての警察職員が携わり、警察活動の基盤ともいべき勤務管理、手当管理等に関する業務を未だ紙媒体・手集計で行っているため、組織全体の業務負担となっている現状から、これらのシステム化を図る。

システム化に伴う各業務の大幅な合理化・効率化により、緊急時における指揮命令の更なる迅速化はもとより、縮減された時間を現場活動へシフトすることで、限られた人的基盤の充実強化に繋げる。また、システムに蓄積された職員の時間外勤務、休暇取得情報の即時把握等により、職員のワークライフバランスを実現する。

(2) 事業内容

- システム化を図る業務
 - ・ 勤務管理（計画～勤務実績）、休暇管理（申請～集計）、職員手当管理（時間外勤務、特殊勤務手当、宿日直勤務手当等）、業務（スケジュール）管理等（会計年度任用職員を含む。）
- 主なシステムの機能
 - ・ 発生源入力（申請）、電子決裁
 - ・ 休暇取得状況、実績手当の集計、人事給与システム連携（実績手当情報出力、給与明細情報等入力）
 - ・ システムに登録された各種情報の活用

(3) 県負担・補助率の考え方

電子化を図ることによって業務の合理化、効率化になることから、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	7,887	勤務管理等システム開発（6年計画2年度）
合計	7,887	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律
（平成31年4月1日施行）

(2) 国・他県の状況

既に30もの都道府県警察において同様のシステムが開発・運用されているところ、岐阜県警察を含む12県警察においても開発中（計画中）である。

(3) 後年度の財政負担

初期導入年度を含め6か年の事業とし、その後の改修更新を行う。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 勤務管理のシステム化により、勤務管理者による職員の勤務の一元管理（見える化）、緊急時における人員確保の迅速化を図り、人的基盤の充実強化に繋げるとともに、職員のワークライフバランスを実現する。
 紙媒体・手集計で行っている業務の合理化・効率化により、人件費及び物件費の縮減、事務の正確化及び迅速化を実現する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

職員の勤務の一元管理（見える化）等による人的基盤の充実強化に繋げるものであり、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	業務の合理化、効率化のためであり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	業務の合理化、効率化が図られることで、大幅な時間外勤務の抑制が期待できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	紙媒体の管理から電子化となり大幅な効率化が図られる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 システム運用開始後も勤務に関する法律、条例、規則等の改正により、システム改修が必要となる。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 組織全体で勤務管理制度に係る理解を深めるため、継続的に各種教養等を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	